



平成24年1月30日

各位

会社名 株式会社紀陽ホールディングス
代表者名 取締役社長 片山博臣
(コード番号 8415 東証第1部)
問合せ先 常務取締役グループ企画部長
成田幸夫
(TEL 073 - 426 - 7133)

平成24年3月期第3四半期 有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成24年3月期第3四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

1. 平成24年3月期第3四半期における有価証券評価損

	連結
平成24年3月期第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）の有価証券評価損の総額 （= A - B）	3,692百万円
（A）平成24年3月期第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）の有価証券評価損の総額	7,870百万円
（B）直前四半期（平成24年3月期第2四半期）連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の有価証券評価損の総額	4,178百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、第1四半期から第3四半期までは洗替え方式、第4四半期は切放し方式を採用しております。

※ 当社グループの決算期末は、3月31日であります。

※ 減損処理は、当社の子会社である株式会社紀陽銀行において生じたものであります。なお、平成23年12月末における紀陽銀行単体ベースのその他有価証券評価差額金は、10,379百万円（速報値）であります。

2. 今後の見通し

平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表いたしました予想数値から変更はございません。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
グループ企画部 白井
TEL 073 - 426 - 5111